

森の学校 だより

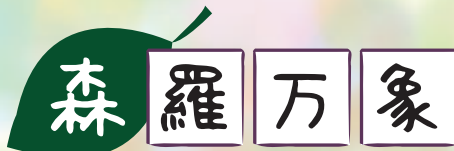
富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol. 26



Profile

西村 修(にしむら おさむ)

大卒後、中越パルプ工業(株)入社。入社後、一貫して原材料の調達業務に携わり、新潟、長野、岐阜、米国シアトル等各地を歴任。09年横浜開港150周年記念イベント「Y150」の企画・運営の統括をきっかけに社会活動に目覚め、11年営業企画部立ち上げに参画。寄付金付製品「里山物語」、国産竹100%の「竹紙」等、本業を通じた社会貢献による企業価値の向上を目指している。11年「竹紙」が第8回エコプロダクツ大賞受賞。



中越パルプ工業株式会社
営業企画部 部長 西村 修さん

「考え動き出せば、
社会に対してできることは
たくさんある」

今回のゲスト

寄付金付製品「里山物語」、
国産竹100%由来の「竹紙」
等、ユニークな環境配慮型
製品を世に送り出す総合紙
パルプメーカー・中越パル
プ工業(株)。その企画・営
業の最前線で活躍する西村
修さんのユニークな仕事ス
タイルに迫りました。

Q1. 中越パルプ工業と西村さんの仕事内容について教えてください。

当社は包装紙等の産業用紙から書籍等の印刷用紙まであらゆる紙を製造販売する総合紙パルプメーカーです。私は営業企画部に属し、製品のブランド化や広報、販路開拓などを中心に行なっています。

Q2. 「里山物語」「竹紙」等、ユニークな製品を世に送り出していますね。

「里山物語」は人工林の間伐材100%を活用した紙で、通常の紙にキロあたり数円上乗せした金額を売れた分だけ里山で社会活動を行う団体に寄付をする、日本の森が抱える2つの大きな課題である「人工林」と「里山」の再生に同時に寄与する環境配慮型製品です。

「竹紙」は、当社川内工場(鹿児島県)で1998年から取り組みはじめ、地域のタケノコ農家が軽トラックで運び込んだ竹を有料で引き取り、竹由来の紙を製造しています。国産竹100%の紙の製造は日本で唯一で、今では九州全域から竹が集まるようになり、年間2万トン以上(竹約75万本分)を紙にしています。全国に広がる放置竹林問題の解決の糸口として、高く評価されています。

これらはいずれも日本の森が抱える課題に企業が経済活動として解決に寄与する仕組みです。決して順風満帆とまではいきませんが、環境に感度の高い方を中心にご支持いただいています。



Q3. 西村さん自身、こうした分野に昔から携わっていたのですか？

私は実は入社後約20年間は、こうした分野にほとんど関わりはありませんでした。ただ、2009年、当社が横浜開港150周年のイベント出展が決まった時、社内では皆が消極的な中、誰かがやらなきゃ進まないと手を上げ、四苦八苦しながらやりました。そこでたくさんの方とつながり、イベントも大好評で終えました。この経験から「こんな自分でも、本気でやればできる」と味をしめてしまった(笑)。それから2年間、環境配慮型製品のブランド化、広報・営業すべてに積極的に関わってきました。製品の差別化が難しく、効率化が求められる製紙業界にあって「付加価値をつけて高く売る」こと自体挑戦でしたが、感度が高く、社会的な発信力もあるNPO・NGOの方達と関係を構築することで、ありがたいことに草の根からじわじわと支持が広がっています。



ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL : 0544-66-0790
FAX : 0544-67-0567
E-mail : forest@wens.gr.jp
HP : http://wens.gr.jp



にも出来る事

「森にかかわる達人」

西村 修さんのお話は、まだまだ続きます！

Q4. 西村さん自身、仕事を進める上で心掛けていることはありますか？

私は「自分」がまず面白いと思えることをやることにしています。その上で、「会社」と「社会」にとっても良いことであれば、誰も文句は言えない(笑)。1人でできることは限られていますが、前向きに仕事をしていると、素敵な人たちに会えます。ホールアース研究所さんとも竹サミット2011をきっかけに交流がはじまり、色んな形で連携させていただいています。そうした方々にはできるだけ率直に当社のできることに、逆にしてほしいことを伝えるようにしています。そうすることで相互理解が進み、単なるビジネス以上の関係を築くことができました。ただそれも、良いと思える商品があるからこそ。そう言った意味では、社内でこれらの取り組みを地道に続けてきた同僚にはとても感謝しています。

まずは、

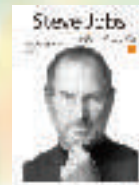
自分が面白い

と思えることを、やる。

Q5. 私達にできることは何でしょう？

こんな私でも、やる気を出して動き出したら魅力的な方々に出会い、自分・会社・社会にとって良いことができる。私のようなサラリーマンが立ち上がり、会社をいい意味で利用して社会的な活動を進めれば、そこから社会は変わっていくのではないのでしょうか。

■西村さんのおススメ書籍



「スティーブ・ジョブズ」
ウォルター・アイザックソン著
井口耕二訳 講談社
批判されながらも自分の信じた道を進むジョブズ氏に、共感し、勇気づけられます。

「小さくてもいちばんの会社」
坂本光司・坂本光司研究室著 講談社
手前味噌ですが、当社が取り上げられています。



「ろうきん森の学校」活動に今回初参加して、家族でもとても有意義な時間を過ごすことができました。ノルディックウォーキングについては、身体の動きと理にかなうものであり、思っていたよりも無理なく田貫湖を一周することができました。霧雨の中ではありましたが、かえって静寂で幻想的な森の様子も知ることができて心が洗われるようでした。フィールド吹き矢では、参加した子供が先生の指示を聞き真剣な表情で取り組む姿をみることができ、子供の成長を感じることができました。老若男女に関係なく的に当て楽しめるスポーツであり、腹式呼吸を使い、気持ちの高まりを抑えることができたり、集中力を養えるスポーツなので、このスポーツで学んだことも日常生活にぜひ活かせたらと思いました。久しぶりの雄大な自然の中で、参加された皆さんと過ごし、スポーツやみんなで協力して野外で薪を燃して鉄板を使っての昼食作りと楽しい活動に参加できて、本当にありがとうございました。



初めての参加、しかも園児連れで5キロのウォーキングと吹き矢！いうことでドキドキしながら参加しました。無事全部体験でき、とても有意義な時間が過ごせました。

【事務局より】

今回のプログラムは、「富士山カラダの学校」との協働開催です。今後の予定については、HPをご覧ください。

<http://fujikarada.i-ra.jp/>



ノルディックウォーク

富士山地区

柚野エリア

収穫の秋、広場いっぱいの栗！ 稲刈り、目にも鮮やかな彼岸花



くり

秋になると広場の栗の木に一齐に栗がなります。油断しているとイガが落ちてくる！?



稲刈り

春に植えたアイガモたんぼの畦には彼岸花が咲き、柚野の里に収穫の秋が訪れます。



間伐 涼しくなると、田貫湖エリアでは間伐作業のシーズン到来です。

田貫湖夏祭り

環境省田貫湖ふれあい自然塾の夏の恒例行事「田貫湖夏まつり」に、里山つなぎ隊メンバーが出張してきました！今回はなんと！長さ50mのその名も「ドラゴン流しうどん」。イベントに先立ち、事前に通常竹林整備をしているサイトで竹を伐採し、うどんを流す台を作るといった事前準備もつなぎ隊メンバーが一手に担い、当日の運営も中心になって行いました。訪れた親子はその長さにびっくりしながらも、大人・子ども共に、うどんをすすっていました。里山つなぎ隊は中心メンバーが固定化して仲間の結束が高まり、リーダーシップが発揮できるようになってきました。秋にはますます盛り上がりますよ～。



自然学校講座・森と暮らしのコース

自然学校講座・森と暮らしのコースは6-7月でいよいよ古民家の階段づくりに取り掛かります。小杉棟梁の指導のもと、まずは階段の設計から入ります。ただ、梁が出ていて、なかなか思うようにいきません。何度も何度も書き直して、やっと一つの案に落ち着きました。小杉さん曰く「階段づくりは家づくりの基本」とのことです。7月はその設計図に基づいて実際の階段の製作作業に入りました。柱を立てるための柱石を加工するところからはじめ、階段の割り付けを型紙に写しこみます。ここでも計算です。頭と手と体、すべてを使いながら講座生は充実感一杯で毎月通っています。次の作業は、9-10月。さて、果たして完成するでしょうか？

活動予定



「第6回田貫湖秋まつり」

日時：10月14日(日)
10:00～15:00
場所：田貫湖エリア
対象者：誰でも
参加費：無料
(一部プログラム及び出店は有料)



竹でバームクーヘン、森のロゲイニング、巨大丸太ボーリングなど森に親しむプログラムが盛りだくさんの毎年恒例の日帰りイベントです。地元富士宮の美味しい食の出店や、太鼓の演奏、家族みんなで楽しめるプログラム満載です！

福島地区

湯ノ岳エリア

美しい紅葉と瀬戸峩廊の滝巡り 秋の自然探勝のフィールドはここ！

夏井川渓谷
湯ノ岳山荘より車で40分位のところに夏井川渓谷龍場の滝があり、ここを中心に約15km続く夏井川渓谷があります。秋の紅葉の美しさはいわき市でも有名です。健脚向きには、夏井川支流の江田川にある瀬戸峩廊の滝めぐりもできます。この夏井川流域は自然探勝のフィールドとして最適などころで、四季折々さまざまな活動がおこなわれます。



森林療法体験

5/20森林療法体験をしてもらいました。はじめに森の中で使う椅子を丸太で作ってもらい、森に入ってもらいました。森林療法のプログラムの中で、今回は森林散策とリラクゼーションを中心に行いました。新緑時期であり、初めての体験者も学ぶことが多くあったようです。森から戻った後には、皆で昼食を作ってもらいました。今回のメニューはウコギごはん、天ぷら(タラノメ、ヤマウド、シドキ、タカノツメ)炒め物(タラノキ、ヤマウド)おひたし(シドキ)お好み焼き、わかめのみそ汁と旬満載でした。



自然観察会 花炭づくり、昆虫採取

7/22自然観察会を湯ノ岳フィールドにおいて行いました。今回の自然観察では花炭づくりの材料集めと昆虫採取もあわせて行いました。今年は例年と比べてカブトムシやセミが少なく、採れたのはカナブンやバッタ類が中心でした。花炭づくりは、火起こしから体験してもらいました。花炭ができる間は、大人は料理作り、子供はクラフト体験を行いました。野外料理については新ショウガと白魚の炊き込みご飯にキノコ汁を中心に、湯ノ岳産の新ジャガ、玉ネギ、ニンジン、石ガマ焼きと、インゲンのおひたし、それにゼンマイの煮物とこちらも地物中心でいただきました。

活動予定



「自然観察会、キノコ勉強会、野外料理体験」

日時:10月21日 9:00~12:00
場所:湯ノ岳山荘
対象者:誰でも
参加費:500円

自然観察会はキノコの勉強会を兼ねて行います。キノコの勉強会はキノコの生態と固定を中心に行います。採取したキノコについては放射能の影響をチェックした後に利用しますので、今回料理に使用するものは安全性を事前にチェック済のものとなります。

広島地区

野草の様々な特徴を観察！ 素朴で可憐な姿に奥深さアリ！



アキノノゲシ (キク科)
 草日当たりの良い草地や路傍に見られる1~2年草。茎の上部で分枝して円錐花序を作り、薄い黄色の舌状花からなる直径2cmの頭花を多数つけ、昼間開き、夕方にはしぼむ。茎や葉をちぎると白く苦い乳液がでる。飼料として栽培されるリュウゼツサイは変種で、大型になる。



センブリ (リンドウ科)
 日当たりの良い草地に生える2年草。千回振り出してもまだ苦いという。生薬名は当薬、胃腸薬として用いられる。花冠は、普通5深裂し、白色に紫の条がある。林縁の草刈りにより、近年あちこちで見られるようになった。



アキノキンソウ (キク科)
 日当たりの良い林縁や路傍に見られる多年草。頭花は枝先に散房状または総状につき、花冠は黄色、舌状花と筒状花とがあり、内側の筒状花が結実する。別名はアワダチソウで、同属のセイタカアワダチソウによく似ている。

環境保全家族 ふれあい体験活動

広島県労働者福祉協議会主催の「環境保全家族ふれあい体験活動」が5月27日(日)、ろうきん森の学校で開催されました。この活動は、ろうきん森の学校の環境整備ボランティア活動や自然体験活動を通して、環境保全意識の向上を図るもので、当日は、参加者約70名が参加しました。大人と子どものグループに分かれた後、大人は森の学校内の散策道づくりや人工林の枝打ちボランティア活動に汗を流し、子どもは万代池周辺の散策や葉っぱスタンプ、マイ箸作りなどの自然体験を楽しみました。昼食には、全員でバーベキューを楽しみ、地元野菜即売会が開かれるなど、参加者は森の1日を大いに楽しみました。



親子の週末森遊びサークル 「森の妖精くらぶ」

親子の週末森遊びサークル「森の妖精くらぶ」の第3回は、夏休みに入った7月28日(土)に、9組20人の参加で行われました。いつもの妖精からの手紙に「私たちの森のなかまをみつけてね」とあり、網を片手に生き物探しのおさんぽに出かけました。いろんな虫を見つけたら、木陰に涼しい風が吹く森の中で、おにぎりや冷や奴のランチを食べました。午後、子どもたちはそのまま森の中でままごとをしたり、ロープをつかって遊んだり、かけっこをしたり、元気に遊びました。その間、大人はひとときのコーヒーブレイク。ハンモック初体験もしました。最後はみんなでスイカを食べて、夏の森の1日を満喫しました。

活動 予定



「森の学校フェスティバル」
 日時：10月27日(土)10:00~16:00
 場所：ろうきん森の学校
 対象者：どなたでも
 参加費：無料(一部有料プログラムあり)



丸太切り競争、クラフト、石釜のパン焼き、カヌー体験、森の冒コース等

ろうきん森の学校 活動予定

※ 下記以外にも、毎週木曜日は平日作業隊による里山整備等の活動を行っています。平日作業隊の参加は自由で参加費もありませんが、初めての方はお問い合わせ下さい。

富士山地区

- 柚野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

月	富士山地区	福島地区	広島地区
9月	<p>日程 里山のようちえん 9月15~16日 内容 稲刈り、自家製小麦でピザ作り 対象 3歳~6歳の幼児とその保護者 費用 22,000円(大1,小1)</p> <p>日程 里山つなぎ隊 9月22~23日 内容 竹林整備 対象 18歳以上 費用 2,000円</p> <p>日程 森と暮らしのコース 9月22~23日 内容 古民家の階段づくり 対象 通年コースです 費用 120,000円(通年)</p>	<p>日程 9月16日 内容 自然観察会、農作業体験、野外料理体験 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業 ■ 第1、第3日曜日...調査 ■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会</p>	<p>日程 9月2日(日) 内容 森の妖精クラブ 対象 未就学児と保護者 費用 大人2,500円、幼児1,500円</p> <p>日程 9月9日 内容 わくわく探検隊 対象 小学校4年生~中学生 費用 年間30,000円</p>
10月	<p>日程 田貫湖秋まつり 10月14日 内容 竹でバームクーヘン他 対象 誰でも 費用 無料(※イベント欄参照)</p> <p>日程 里山つなぎ隊 10月13~14日 内容 竹林整備 対象 18歳以上 費用 2,000円</p> <p>日程 森と暮らしのコース 10月27~28日 内容 古民家の階段づくり 対象 通年コースです 費用 120,000円(通年)</p>	<p>日程 10月21日 内容 自然観察会、キノコ勉強会、野外料理体験 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業 ■ 第1、第3日曜日...調査 ■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会</p>	<p>日程 10月20日(土) 内容 わくわく探検隊 対象 小学校4年生~中学生 費用 年間30,000円</p> <p>日程 10月27日(土) 内容 森の学校フェスティバル 対象 どなたでも 費用 無料(一部有料)</p> <p>日程 10月28日(日) 内容 県労福協・森のふれ愛コンサート 対象 どなたでも 費用 無料</p>
11月	<p>日程 里山のようちえん 11月17~18日 内容 そば打ち、命をいただく 対象 3歳~6歳の幼児とその保護者 費用 22,000円(大1,小1)</p> <p>日程 里山つなぎ隊 11月17~18日 内容 竹林整備 対象 18歳以上 費用 2,000円</p> <p>日程 森と暮らしのコース 11月24~25日 内容 竹林整備、竹炭づくり、竹の生態学 対象 通年コースです 費用 120,000円(通年)</p>	<p>日程 11月18日 内容 自然観察会、森林療法体験、野外料理体験 対象 どなたでも参加できます 費用 500円</p> <p>定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備 ■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業 ■ 第1、第3日曜日...調査 ■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会</p>	<p>日程 毎週木曜日 内容 平日作業隊 対象 大人 費用 無料</p>

Information

NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165
TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
HP: http://wens.gr.jp

Access

電車: JR身延線「西富士宮駅」よりタクシー15分
車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



Information

NPO法人いわきの森に親しむ会
〒970-8326 いわき市常盤藤原湯の岳2湯ノ岳山荘内
TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp
HP: http://www16.plala.or.jp/goan/

Access

電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



Information

NPO法人ひろしま自然学校
〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
E-mail: nkk2002@mac.com
HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access

電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
車: 広島自動車道広島北I.C.より20分



樹になる話



紙を使って里山を守る

インタビューに登場した、中越パルプ工業(株)が取り組む「里山物語」。ここで使われているロゴマークを紹介します。マークにある「CRM」とは、Cause Related Marketingの略で、エンドユーザーが購買行動を起こした時に発生する金額の一定の割合を、定められた目的のために寄付することを通じて社会に貢献する、というもの。分かりやすく言えば、買うだけで社会貢献に協力できるという仕組みです。CRMは最近増えて来ているので要チェックです。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。